

労働災害防止推進大会

と き 令和3年1月22日

ところ ホテル ハイマート



高田労働基準協会

労働災害防止推進大会 次第

1 開会あいさつ

高田労働基準協会会長

東北電力ネットワーク株式会社
上越電力センター

所 長 堀越 和宏

2 来賓祝辞

上越労働基準監督署

署 長 松本 直樹 殿

3 大会宣言

4 安全祈願

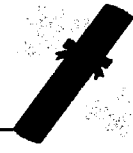
八坂神社 宮司 殿

玉串奉奠 堀越会長・松本署長

閉 会



無災害記録達成



おめでとうございます

株式会社 アイシン 殿

第三種（銅賞）

樹立日 令和2年9月30日

達成日数 2,400日

令和2年12月1日授与



株式会社 古田組 殿

第二種（進歩賞）

樹立日 平成30年9月27日

達成日数 2,200日

令和2年3月1日授与



株式会社 三商 殿

第一種（努力賞）

樹立日 令和2年7月18日

達成日数 700日

令和2年9月1日授与

令和2年授与事業所の皆様（達成日数順）



大 会 宣 言

～ 労働災害防止の誓い ～

現下の情勢は、2019年末頃に発生したとされる新型コロナウイルス感染症が日本のみならず世界各国で感染が拡大し、世界的パンデミックと称され、今なお、その収束時期が想定できにくい混迷した情勢と言える。

このような大変厳しい情勢下ではあるものの、私達が職場での日々の仕事に励むのは、先ずは自分たちの生活を維持し、それを一步一步より良いものにしていき、自分たちの仕事は何らかのかたちで社会を発展させること、社会貢献ができることにあり、崇高な目標である「労働災害はあってはならない」「おこしてはならない」ことは、些かの揺るぎない目標であることは言うまでもない。

しかしながら、労働災害は依然として後を絶たない状況であり、とりわけ、令和2年では上越労働基準監督署管内で3名の方の尊い命が失われた結果となったことは慙愧に堪えず、かつ、休業4日以上労働災害が大幅に増加していることを踏まえるならば、労働災害の撲滅は、まさに喫緊の課題である。

常に安心して働ける快適な職場環境を保つことは、単に労働者を保護するためばかりでなく、経営を進展させるためでもあり、ひいては我が国の産業を発展させることにつながることをより一層、労使ともに肝に銘ずる必要がある。

職場の安全や労働者の健康を確保するには、経営トップ自ら強い意志で「災害ゼロ・快適職場の形成」を表明するとともに、労働者一人ひとりが参加する安全衛生活動のさらなる活性化とともに、職場での安全衛生教育を徹底することにより安全意識の高揚を図り、職場における潜在的な災害発生要因を取り除く強い意識と災害発生リスクへの感受性を研ぎすますことが重要である。

よって、ここに決意も新たに労働災害防止のため誓うものである。

- 一 人命尊重を第一義とし、あらゆる状況において安全衛生管理を優先する。
- 一 経営トップは自ら率先して心身両面にわたる健康づくりと、効果的な自主的安全衛生管理活動の強化を図る。
- 一 一人ひとりが、職場に潜在するリスクの排除、改善に努める意識を持つことにより、災害発生リスクに対する感受性を高め、安心・安全な職場を実現する。

令和3年1月22日

上越労働基準監督署管内
上越市・妙高市事業所一同

令和3年 労働災害防止推進大会

スタッフ写真



堀越 高田労働基準協会会長 ご挨拶



松本 上越労働基準監督署長 様 ご挨拶



八坂神社 様 による 安全祈願祭